



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2019年5月25日発行 第8号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



児童・生徒の

安全な学校生活を期して

—トルネードに対応する避難訓練を実施—

自然災害や火災、交通事故などの緊急時にどのように行動するか。児童・生徒、教員や関係者の命や安全、学校という組織を守るために日頃より常に意識しておかなければならない課題です。学校は、運営上の様々なリスクを念頭にそれに対処するための方策を準備しておくことが必要ですが、全てに対処するには一定の限界があります。そこで、それぞれの学校は、起こりうる可能性の頻度や大小を勘案し重要度が高いものから優先的に避難訓練等を実施しています。

国内の学校の場合、避難を要する危機的状況の第一想定は火災です。消防法で訓練が義務付けられているため火災を想定した避難訓練を実施しない学校は皆無です。地震や津波、台風や豪雨災害、豪雪対策等も実施しますが、地域によって想定する危機も異なります。海外の場合は、さらに事情が異なります。かつて勤務したソウル日本人学校の場合、避難すべき事態の第一想定は「戦争（空襲）」でした。本校の場合はどうでしょうか。それは「不審者侵入」であることに間違いないでしょう。2001年に大阪教育大学附属池田小学校で起きた児童無差別殺傷事件の後、日本でも不審者侵入への危機意識が高まりましたが、本校のそれと比べると現実味がいまひとつ感じられません。

18日には、トルネードの発生を想定した2度目の避難訓練を実施しました。被害に遭遇する確率は高くないかも知れませんが、万一のことを想定し避難する場所を確認しておくことはとても大切です。本年度に実施した研修・訓練は以下の通りです。

- ・アレルギー対応研修（全教職員） 4月14日
- ・所在不明者搜索訓練（事務局・校舎職員） 4月20日
- ・不審者想定避難訓練（全教職員、児童生徒） 4月27日
- ・心肺蘇生トレーニング（新採用者） 4月27日
- ・トルネード避難訓練（全教職員、児童生徒） 5月18日

今後も危機意識を持ち続け、様々な事態に対応したいと考えています。



音読講習会が開催されました

5月18日、25日の両日、4階カフェテリアにて、管理運営委員会教育人事部が主催する「音読講習会」が開催されました。講師をお勤めになったのは、本校の保護者でもある加島未来さんとベイカー浩子さん。おふたりとも、日本語教育学修士を取得され、加島さんは、現在モンゴメリー大学で、ベイカーさんはご自宅で日本語を教えていらっしゃいます。

「インプットとアウトプットを同時に行う音読は、想像以上に効果がある」、「親子共々に行うのがコツ」、「読み聞かせから始め、音読を楽しみを感じるように導くことが肝心」。参加した方々は、そのような講師の話にしっかりと耳を傾けていました。

音読の大切さについての理解が一層深まったことでしょう。もっと多くの方に参加してもらいたいと感じる講習会でした。



伝言板

◎悪天候時の対応については、

http://www.wjls.org/parents/inclement_weather/

◎安全対策については、

<http://www.wjls.org/parents/main/seito-shidou-manual>

でご確認ください。

◎緊急時における学校からの連絡

1) 全体案件の場合、以下のメールアドレスおよび電話番号より一斉連絡があります。

「mail@notify.onecallnow.com」 「301-962-7410」

(WJLS 事務局)

※保護者は、メールソフトのセーフリストへの登録及び電話番号の登録をお願い致します。

2) 個別案件については、「240-704-3939」

(WJLS 職員室)より電話連絡が入りますので、「240-704-3939」も合わせて登録しておいてください。



行事予定

1 日 個人面談

8 日 青空ピクニック

15 日 校長との座談会

22 日 運動会練習開始

29 日 夏休み前最終授業日

運営委員会

職員会議

新採用教員研修

国語コース別担当者会